



# DJI レポート

No. 112 20171231

〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24 fax+phone 0466-31-5061 Email: djiarchiv@yahoo.co.jp

## 【DJI 年表】2018年はアーカイブ14年です。

本誌では2005年を「アーカイブ元年」と唱え、アーカイブ俯瞰記事の掲載につとめてきました。

これはアーカイブ元年以来の関連記事年表です。2017年末号をお届けします。◎小川千代子 20171231

年	本誌 No.	記事	備考
2005	61 巻頭	2005年をアーカイブ元年に 目標 文書基本法の実現 基礎自治体のアーカイブ整備	2004年、日経新聞の連載「アーカイブ 零(ゼロ)年」をうけ国際資料研究所とし2005年を「アーカイブ元年」と宣言。4月E文書法施行
2006	65 巻頭	アーカイブ元年からアーカイブ2年へ ①文書基本法の実現②市区町村のアーカイブ整備③電子記録の長期保存必要性主張④日本のアーカイブ活動の国際的発信	2005年からNIRA「公文書管理の法制度検討委員会」(委員長高橋滋一橋大学大学院教授)、内閣府「懇談会」に中間書庫と電子媒体記録の2研究会が置かれる 6月「宙に浮いた年金記録」が約5000万件あることが判明
	66 巻頭	アーカイブ2年 文書基本法の実現に向けて DJI「文書基本法」の見直し	
	69 巻末随想	アーカイブ2年回顧と展望 電子記録の長期保存が「アーカイブ」3年の課題	
2007	70 主張	「アーカイブ」3年 ブルーシールド国内委員会設立を！→NDL/JLA『ブルーシールド—危機にひんする文化遺産の保護のために』出版	国民保護法成立、有事の文化財保護の根拠法。ブルーシールドの根拠であるハーグ条約を批准。 社会保険庁、国民年金記録5千万件が宙に浮く、など国会で問題となる
	71 視点	今こそ記録管理院を創設せよ (社会保険庁年金記録問題をうけ)	
2008	73 視点	「アーカイブ」4年を迎えて 相次ぐズサン文書管理、問われる「国家の品格」	3月、公文書管理のあり方等に関する有識者会議、発足。7月、中間報告、11月、最終報告。 <a href="http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html">http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html</a>
	74 巻末随想	文書管理法と文書局	
	75+76 視点	国家事業として取り組むべき公文書管理	
2009	77 視点	公文書管理法の早期成立を望む (「アーカイブ」5年)	6月20日、公文書管理法成立 11月21日、外務省が保管する日米外交密約文書の存在が明るみに出る。
	79+80 視点	DJIの視点 成立した公文書管理法	
	81 視点	市場となるアーカイブ (「アーカイブ」6年)	
2010	82+83 散歩道	博物館・図書館におけるアーカイブズ存在とMLA連携	7月公文書管理委員会(座長御厨貴東京大学教授)発足、公文書管理法が「ドライン」制定。
2011	84 巻頭 巻末随想 視点	「アーカイブ」7年を迎えて 大丈夫? 大学アーカイブ ◆近況・「アーカイブ」6年、日本の「アーカイブ」と「アーキスト」	3月11日 東日本大震災 ツイッターによる救援呼びかけが盛んに行われ、saveMLAKの活動に関心が集まる。 被災地で失われた風景等の記憶の保存を目指す、デジタル写真アーカイブプロジェクト、広がる(ヤフーサイト等) 4月 公文書管理法施行 5月 外務省外交機密文書の公表
	85 巻頭 記録集 散歩	東日本大震災お見舞い DJI メルトモ速報再録 1.1~3.31 3.11大震災とツイッター	
	86+87	記録・千葉県九十九里町、旭市飯岡町の津波被害、野田村の図書館、大槌町役場の公文書	
2012	88 巻頭	アーカイブ8年 DJI 記事年表	1月 原発事故時の議事録不作成が問題となる 4月 国立国会図書館長で、デジタル・アーカイブを推進した長尾真氏、退任。 7月 ICA大会、オーストラリア、ブリスベン 10月 円の対ドル相場が75円32銭の過去最高値 12月 政権交代、自民党安倍総理大臣就任
	89 巻頭	今、トレンドは『アーカイブ』	
	90 巻頭	突撃! モンゴルの国立記録管理院+アーカイブセンター(〜92) アーカイブの看板@ベルリン(転載)	
	91 巻頭	4年目を迎えた UNHCR ボランティア	
	92 巻頭 見学記	国際連盟アーカイブ in Geneva 福井県立文書館見学レポート DAS Do you know? SAAのMLから	

### おもな内容

DJI レポート No. 112 20171231

DJI アーカイブ 14 年表……………1  
あしあと／文献紹介……………3

消息・訃報／活動……………4  
巻末随想……………5

2013	93 巻頭 見学記 視 点	アーカイブ9年 DJI記事年表 ベルンとベルリンの公文書館見学記 アーカイブの世紀がはじまった	志立託爾氏（元三菱信託銀行〈現三菱UFJ信託銀行〉社長1月31日死去、享年85、 2月 国立公文書館長公募 4月 自民党憲法改正草案発表 6月 新国立公文書館長に加藤丈夫氏 9月 アーカイブ・記録管理全国大会 10月 特定秘密保護法案、国会で審議入り 11月、国会周辺で保護法案反対デモ盛ん 11月23日 国際資料研究所緊急声明発表 11月25日 記録管理学会緊急声明発表 12月6日 特定秘密保護法成立 12月26日 安倍晋三首相靖国神社参拝
	94 巻頭 視点 消息	三ツ星！東京都公文書館の情報検索システム 激写！再訪モンゴルの国立公文書館外観 小布施町文書館（4月24日）	
	95 報告 視点 紹介	タイの国立公文書館見学記 ついに実現！ウソハートのアルヒーフ見学 新国立公文書館長	
	96 見学記	新館見学！フランス国立公文書館 ロンドンで教会のアーカイブ調査！ 国際赤十字委員会アーカイブの訪問調査と…	
2014	97 巻頭 年表 98+99 見学記	年頭挨拶 DJI緊急声明2013. 11. 23 アーカイブ10年 DJI記事年表 パリ市公文書館	2月猪瀬前知事辞職に伴う東京都知事選挙 7月 解釈改憲閣議決定 12月10日 特定秘密保護法施行
2015	100 巻頭	所感「公文書管理の課題」/茨城県常陸大宮市文書館見学	1月 公文書管理法がドライン改訂 アーカイブ・サミット開催 7月 記録管理学会、アーカイブズ学会他共同提言書作成 8月 総理大臣他あて共同提言書提出 9月 安保法参議院特別委員会で強行採決10月 ユネスコ世界記憶遺産に南京大虐殺資料(中国)、シベリア抑留資料(日本)登録。日本国政府、不快を表明。海外では日本のこの動きに注目。ICA国際文書館評議会人権問題作業部会HRWG/ICAニューズレター10月号に関連記事掲載。ICA Resources > Online Resources Centre > HRWG Newsletter > HRWG Newsletter, October 2015 <a href="http://www.ica.org/18340/hrwg-newsletter/hrwg-newsletter-october-2015.html">http://www.ica.org/18340/hrwg-newsletter/hrwg-newsletter-october-2015.html</a> (2015-12-31確認) 12月 歴史学研究会、記録管理学会等7団体合同で「施行1年の特定秘密保護法 歴史学、アーカイブズ学から考える」シンポジウム開催 於明治大学
	101 巻頭 102 巻頭 Web	情報公開制度の成熟と文書主義衰退 法5年見直し合同研究集会と共同宣言の提出 ウェブ上に総目録掲載  12月のシンポジウムを報じる新聞記事 	
2016	103+104 巻頭  105 106 107+108	年頭挨拶/DJIアーカイブ年表 ユネスコの世界記憶遺産登録事業をめぐって 公文書管理法5年見直報告書概要 ソウルICA大会 ジュネーブ・アーカイブ・ボランティア報告会	ICA大会、9月5-10日、韓国ソウルで開催、日本から60名以上が参加 国立公文書館新館構想まとまる 国立公文書館「日本におけるアーキビスト職務規準」発表(2017.3取下げ)
2017	109	京都でUNHCRアーキビスト来日記念セミナー開催 予告	3月、4月森友学園問題で財務省の公文書保存期間の設定のあり方世間の注目を浴びる 4月 東京都公文書管理条例案パブコメ 4月 国立公文書館日本国憲法原本展示会 4月 UNHCRアーキビスト来日記念セミナー 5月 国会で共謀罪法案審議開始 国連人権高等弁務官事務所特別報告者のケナタッチ報告、これを非難。日本政府はこれに抗議したが、感情的と切り返された。 6月 東京都公文書管理条例(平成二九年六月一四日条例第三九号)公布、7月1日施行 9月 朝日新聞グローブに「記録の力」掲載、その後Web版にも記事が追加された。 11月 世界記憶遺産に日本の上野三碑登録、杉原千畝資料は見送り。
	110+111	ICA 人権を支えるアーキビストと文書担当者の役割の基本原則	
	112	DJIアーカイブ14年表  本誌「あしあと」 「活動記録」掲載、11月3日wam主権国際シンポ の予告記事【朝日1027朝刊30面】	

## ●千代子のあしあと●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

## ▼DJレポ No.112

2017年12月31日 up、7p. PDF 国際資料研究所  
[www.djchiiyoko.com](http://www.djchiiyoko.com)

## ▼コミュニティだより(東海岸3丁目町内会報) 10月号

10月号に記事を3つ、載せていただきました、防災講演会参加記、UNHCRの記事、我が家にもおれおれ詐欺電話!の3本。中でもおれおれ詐欺の話は、自分で聞いていてもおかしかった。外国で働く息子が近所のレストランに営業に行き、アナあけたから、急ぎよ600万貸して、なんちゃって。2万円ならいい、と言ったら「それじゃ足りないよ。貯金、あるでしょ!」とせびるあたり、なんか真に迫ってたなあ。

## ▼記録管理学会ニュースレターNo.80 2017年10月号

海外アーカイブ・ボランティアの会 2017年度活動報告会の開催予告記事を掲載していただきました。

UNHCR 登録局資料 Fonds11/シリーズ 3/001 整理と研究～国際機関アーカイブ整理プロジェクト報告会～

2017年11月6日(月)午後2時～4時 KANEKA 東京本社

▼朝日新聞グローブ ウェブ限定版 9月14日付 Web オリジナル 記録を語る―「難民の記憶の糸はここに」～UNHCR アーカイブ  
 この夏の UNHCR でのボランティアについて紹介していただきました。アーカイブ・ボランティアの作業写真も掲載されています。

## ▼日本の公文書管理―国および地方自治体の現状

『wam だより』 Vol.37 2017.12 8頁

2017年11月3日の講演概要。

## ▼記録管理学体系化に関する研究(その1)

記録管理学体系化プロジェクトの報告論文。記録管理学会『レコード・マネジメント』No.73 2017 44～59頁

## ●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

## ◆図書館界で働く人向けのスタイリングセミナー&lt;報告&gt;E1935

このレポート、図書館員の変身指南講座の報告と読んだ。性別問わず、スタッフの皆様ご自身の「スタイリング」、つまり着るもの、身だしなみ、メイクから始まり口のきき方や身のこなしに至るまでを見直したり変えたりしようという試み。図書館イメージをより楽しく明るいものへと変えるかも!そして、アーキビストの皆様にも通じるに違いない。で、以下一部引用ご紹介します。

…世間一般の図書館に対するイメージは、本を静かに読む場所という従来の域を超えておらず、図書館員の専門性に関する認知度も高くない。理由は様々あるが、その中のひとつが、実際に働く人の外見から醸し出される雰囲気改善すべき点があるためだと考えた。はっきり言えば「服装や髪型や、メイクを気にしない図書館関係者が相対的に多い」という現実である。そこで今までにない試みとして、ファッション業界の最先端で活動していたプロのファッションコンサルタント、竹岡眞美氏に講師の一人として登壇いただき、自分の外見を魅力的に発信することや、図書館のブランドイメージを皆で考える機会とした。

筆者自身、竹岡氏の指導を受け、50歳手前にして「地味でダサい外見」からシンデレラ並みの(?)変身を遂げた経緯がある。スタイリングが強力なコミュニケーションツールであることを身をもって知り、図書館運営に関するアドバイザー業務等に携わる筆者としては、そのことを多くの図書館関係者と共有したいという思いがあった。今回は対象を「図書館の周辺で働く人々」まで広げたため、当日の参加者40名の内訳は半数が図書館員、残りが図書館関係のベンダーや出版社の社員、研究者、大学等の職員であった。(以下略)

カレントアウェアネス-E No.329 2017.07.27

国立国会図書館 <http://current.ndl.go.jp/e1935>

## ■朝日新聞グローブ 記録の力 高橋由佳理

この記事、アーカイブ資料が社会の中でどのような役割を担っているかを追求する視点が面白い。日本に限定することなく米国、北欧、国際機関を視野に納め、記録物がアーカイブとして保存されている現状に目を向けている。さらに言うと、9月3日以降も続々Web限定で記事がアップされることを付け加えておきたい。最近では11月20日付では、先ごろ来日したトルディ・ピーターソンのインタビュー記事がアップされた。アーカイブと人権の問題を講じたトルディ・ピーターソンのアーキビストとしての経験を詳らかにし、人権問題とアーカイブ資料とのかかわりを解説した功績は大きい。アーカイブ報道の新たな希望由佳理さん!! 朝日新聞グローブ 9月3日付。

## ■公文書管理関係資料集 独立行政法人国立公文書館 平成29年5月 PDF 2017-10-06 確認、

[URL:http://www.archives.go.jp/about/report/pdf/h28\\_kanri\\_siryou.pdf](http://www.archives.go.jp/about/report/pdf/h28_kanri_siryou.pdf)

国立公文書館制作の『アーカイブ基礎資料集』。

とても便利な情報源である。

## 目次

- 1 公文書等の管理に関する法律(平成21年7月1日法律第66号) …… 1
- 2 公文書等の管理に関する法律施行令(平成22年12月22日政令第250号) …… 16
- 3 公文書管理委員会令(平成22年6月25日政令第166号) …… 28
- 4 国立公文書館法(平成11年6月23日法律第79号) …… 30
- 5 公文書館法(昭和62年12月15日法律第115号) …… 35
- 6 行政文書の管理に関するガイドライン(平成23年4月1日内閣総理大臣決定) …… 36

- 7 特定歴史公文書等の保存、利用及び廃棄に関するガイドライン(平成23年4月1日内閣総理大臣決定) …… 101
- 8 東日本大震災に関する行政文書等の扱いについて(平成24年4月10日府令第86号内閣府大臣官房公文書管理課長) …… 131
- 9 東日本大震災に関する行政文書ファイル等の移管に係る基本的考えについて(平成24年6月18日内閣府大臣官房公文書管理課・独立行政法人国立公文書館) …… 133
- 10 領土・主権問題に関する行政文書ファイル等の管理について(通知)(平成28年11月28日閣副第722号・府令第291号内閣官房領土・主権対策企画調整室内閣参事官・内閣府大臣官房公文書管理課長) …… 139
- 11 電子公文書等の移管・保存・利用の具体的方法に係る方針(平成22年3月26日内閣府大臣官房公文書管理課) …… 141
- 12 独立行政法人国立公文書館中間書庫業務要綱(平成23年3月15日館長決定) …… 143
- 13 独立行政法人国立公文書館利用等規則(平成23年4月1日規程第4号) …… 145
- 14 独立行政法人国立公文書館利用細則(平成23年4月1日館長決定) …… 158
- 15 独立行政法人国立公文書館における公文書管理法に基づく利用請求に対する処分に係る審査基準(平成23年4月1日館長決定) …… 168
- 16 独立行政法人国立公文書館移管元行政機関等利用細則(平成23年4月1日館長決定) …… 180
- 17 行政機関の保有する情報の公開に関する法律(抄)(平成11年5月14日法律第42号) …… 183
- 18 行政機関の保有する情報の公開に関する法律施行令(抄)(平成12年2月16日政令第41号) …… 186
- 19 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(抄)(平成13年12月5日法律第140号) …… 187
- 20 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施

- 行令(抄)(平成14年6月5日政令第199号) …… 190
- 21 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(抄)(平成15年5月30日法律第58号) …… 191
- 22 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(抄)(平成15年5月30日法律第59号) …… 197
- 23 著作権法(抄)(昭和45年5月6日法律第48号) …… 200
- 24 特定秘密の保護に関する法律(抄)(平成25年12月13日法律第108号) …… 209
- 25 特定秘密の保護に関する法律施行令(抄)(平成26年10月17日政令第336号) …… 214
- 26 特定秘密の指定及びその解除並びに適性評価の実施に関し統一的な運用を図るための基準(抄)(平成26年10月14日閣議決定) …… 218

■全国公文書館関係資料集 独立行政法人国立公文書館 平成29年6月、PDF限定配布版

関係者にとっては大変有意義な資料集である。公開されれば、この分野を学ぶ人にとっては重要な情報源となるに違いない。

目次

- 1. 公文書館等一覧…1
- 2. 地方公文書館等の概要…5
- 3. 所蔵資料等の概要…25
- 4. 平成29年度事業計画等…38
- 5. 地方公共団体の文書管理条例等から見た文書の保存、廃棄及び移管の概況…132
- 6. 地方公文書館等における歴史文書等の公開に関する条例、規則等の規定…179
- 7. 地方公文書館等の条例制定等状況…234
- 8. 地方公文書館に関する条例・規則等一覧…237
- 9. 地方公文書館の設置に関する条例等の内容一覧…239

◇◆◇アーキビストの消息(順不同)◆◆◇【凡例：●個人■機関】

- 株式会社ニチマイ 8月21日本社移転  
新住所 134-0083 江戸川区中葛西4-19-14  
☎03-6808-3170 東京メトロ東西線葛西駅徒歩6分
- 平澤直樹氏 4月1日付 寒川町総務部総務課主事補、寒川文書館着任。
- 秋山淳子氏 11月1日付 東京大学大学文書館助教着任

- 訃報
- ◆菊池 光興氏 10月7日逝去 享年74。元国立公文書館長、同フェロー。国立公文書館の国際化や公文書管理法成立に尽力された。ご冥福をお祈り申し上げます。

☆本コーナーへの皆様のご協力に心からお礼申し上げます。

DJI国際資料研究所の主な活動 2017年6月1日～2017年12月31日

- <発表>
- 6月3日 「記録管理学体系化に関する研究～2016年度の成果報告」、記録管理学会研究大会、学会研究プロジェクト、九州大学箱崎キャンパス、福岡
- <講演>
- 11月3日 「日本の公文書管理—国および地方自治体の現状」、わたしの戦争と平和資料館主催国際シンポジウム『国家による人権侵害の記録をどう保存していくのか』、在日本韓国YMCA(東京・千代田区猿樂町)
- 11月6日 海外アーカイブボランティア2017年度活動報告会、UNHCR登録局資料 Fonds11/シリーズ3/001整理と研究 ～国際機関アーカイブ整理プロジェクト報告会～ KANEKA東京本社、東京

- <出講>
- 6月8,15,22,25,29日、7月6,13,20日「記録管理論」中央大学多摩キャンパス
- 9月15,22日「記録保存と現代」学習院大学、目白、東京
- <見学>
- 6月2日 福岡共同公文書館(二日市)、大宰府公文書館、太宰府天満宮、福岡県、記録管理学会見学プログラムで
- 6月25日 寒川文書館、神奈川(中央大学、記録管理論)
- 7月16日 松本市文書館、海外アーカイブ・ボランティアの会、松本市、長野県
- 7月25日 神奈川県立生命の星・地球博物館、小田原
- 12月17日 寒川文書館、神奈川(東京学芸大学、博物館資料保存論)

## &lt;訪問&gt;

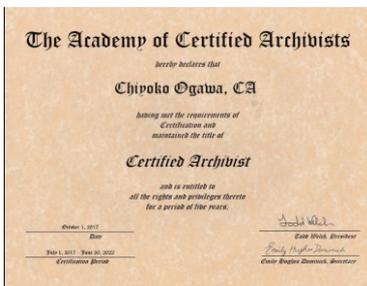
- 6月20日 銀鱗文庫、築地場内7号館2階、東京（所蔵アーカイブ資料整理をめぐって）  
 8月7日 カネカ東京本社、東京  
 8月16日 アクティブ・ミュージアム WAM、西早稲田、東京  
 8月19日 マイケル・クック先生宅 ウエスト・カービー、リバプール  
 8月24日 世界キリスト教会カOUNシル・アーカイブ、ジュネーブ  
 8月29日 ジュネーブ州アーカイブ、ジュネーブ

## &lt;参加&gt;

- 6月2-3日 記録管理学会研究大会、九州大学箱崎キャンパス、福岡他  
 6月16日 全史料協役員会、岡山県立記録資料館、岡山  
 6月24日 東海岸3丁目町内会役員会と夕涼みコンサート 藤沢市  
 7月12日 寒川文書館運営審議会(会長) 寒川、神奈川県  
 7月15-16日 千種台39会 蓼科高原、長野県  
 7月23日 安藤正人さん聞き取り 歴史学研究会、東京  
 8月6日 辻堂地区夏祭り 藤沢  
 8月23日 UNHCR 渉外局ピクニック、レマン湖畔、ジュネーブ  
 8月24日 モンセラート宅およばれ、ジュネーブ  
 9月1日 チェリ宅およばれ、ジュネーブ近郊、フランス  
 10月9日 辻堂地区レクリエーション(運動会)+懇親会、藤沢  
 10月21日 辻堂地区津波避難訓練、堂面第2公園  
 11月8-10日 全史料協全国大会、橋本社のホール、相模原、神奈川県  
 11月11日 ライブラリアンと専門性 -ラトガース大学の女性学研究支援、図書館員のキャリア研究フォーラム

## ■巻末随想

## ■CA 資格更新 2017.5~6



5月下旬に提出した米国アーキビストアカデミー公認アーキビスト、いわゆるCAの資格更新書類、6月中旬にメールが来て、「審査の結果、合格です」とのこと。

証書の方は11月ごろ出来あがるんだそうで、しばらく時間がかかるとあった。でも、これでもうあと5年、アーキビストやれることになった。ほっとした。そして11月には確かに証書が来た(写真)。5年間有効とある。2022年までだ。

## ■最近気が付いたこと

公文書管理法が、国立公文書館等を規定し、国立大学法人に大学アーカイブが設けられるようになってきた。そうしたら、アーキビスト=専門職員の雇用創出につながってき

2017年度講演会、公益財団法人日本女性学習財団、東京大学大学院工学系研究科男女共同参画委員会、東京大学工学部図書館、本郷、東京

11月18日 師範学校アーカイブズ国際シンポジウム 東京学芸大学、東京

## &lt;主催&gt;

7月16-17日 UNHCR アーカイブ・ボランティア準備合せ、海外アーカイブ・ボランティアの会、喜源治他、松本  
 8月5日 湘南BBQ、国際資料研究所、神奈川県藤沢市  
 8月21-31日 UNHCR アーカイブ・ボランティア、ジュネーブ、海外アーカイブ・ボランティアの会  
 12月14日 記録管理体系化プロジェクト研究会、八雲クラブ 東京

## &lt;その他&gt;

6月-12月 週1回右肩リハビリ、マリソル整形外科  
 6月14日 ACA 米国公認アーキビストアカデミーから、公認アーキビスト資格更新申請に対し合格通知メール着  
 6月17日 加藤恵子さん訪問、名古屋  
 7月20日 雷雨でウチだけ停電。  
 7月25-26日、8月14日 箱根対岳荘、静養、神奈川県  
 8月7日、10月2日 玲子さんとランチ、藤沢  
 8月21日 UNOG 国連ジュネーブ事務所カフェテリアでお茶、スイス  
 8月26-27日 ツェルマット〜リッペンアルプ〜ゴルナグラート観光、スイス  
 9月2日 フェルニ・ポルテールの土曜日朝市で買い物  
 9月28-29日 白馬みそら野で静養  
 10月8日 おせち料理発注、藤沢  
 12月9-11日 ウランバートル救援旅行

た。意外な波及効果ってあるものだと思う。しかし、多くが期限付き雇用であるところは、あまりよろしくない。

## ■停電 2017.7.20

雷雨でウチだけ停電、東電を呼ぶ。漏電センサー作動の為だった。屋内配線異常検査は9000円。電線から屋内配電盤までの送電は東電の仕事、屋内の配線管理は、ウチの責任だそう。屋内配線の検査って、チョイチョイと通電状況をメータで調べ、ものの5分とかからない作業であった。ちょっと、納得いかない気持ちが残った。でも、漏電ではなく、センサーの誤作動?ということ家で家が明るくなって、パソコンやファックスやスマホ、みんな回復して、ほっとした。その時は気にしなかったけど、考えてみたらお風呂も電気仕掛けだから、電気なしでは入れない。東電さん、だから明るくビジネスやっとなるようだ。せつかく東電じゃない電気会社にして年間1万円安くなる、とかいう話だったのに、雷ひとつで元の木阿弥。残念。

■記録管理学体系化に関する研究 記録管理学会の研究プロジェクト 2017.9~

3年計画の2年目が認められた。12月に1回目の研究会を開催。1月に次の研究会を予定している。成果をどのように得ていくのか、走りながら考えている。

■ご縁 2017.8

前号に訃報を掲載した故中谷彌氏は、京都府立総合資料館で資料課長を務められ、全史料協近畿部会の立ち上げに尽力した方として接点があった。ご退職後は小松市の浄誓寺で僧職を務められたと承知していた。その浄誓寺が近い友人の菩提寺だとひょんなことから判明、世の中があまりにも狭いことに驚愕した。ご縁というのは不思議だ。

■リバプールの路線バス 2017.8

2017年の夏は、リバプールにマイケル・クック先生をお尋ねした。ジュネーブから空路2時間くらいだったろうか。リバプールの空港は明るくて素敵だった。フランス語圏のジュネーブから英語圏のリバプールに来たので、久しぶりに英語の世界。空港から市内に入るにはバスを利用した。バスは、80Aまたは86Aとガイドブックにあるので、これを利用することにした。バス停に案内らしい制服のおじさんがいたので「バスに乗るにはどうすればいいのかしら？」と運賃を問うた。おじさんは「お金を払って乗るんですよ。鉄道駅に行くならアイティアイに乗るとよい」と教えてくれた。アイティアイ？いや、私が習った英語ではそれってエイティエイっていうはずなんだけど。。という間にそのアイティアのバスが到着した。二階建てバス。でも、降りるバス停がよくわからないので、運転手さんの近くの1階席にとどまった。車内はWifiが快適に使えたので、グーグルマップで行先のホテルを探してドライバさんに「ここに行きたい」と伝えた。そしたら、ホテルの真ん前で下してくれた。ドライバさんも、車内のWifiもとてもありがたかった。

[https://en.wikipedia.org/wiki/Merseyrail#/media/File:Merserail\\_Map.svg](https://en.wikipedia.org/wiki/Merseyrail#/media/File:Merserail_Map.svg)

■ウランバートル救援旅行 2017.12

12月上旬、モンゴル出張中の夫から電話があった。「入院した。息が苦しい。」すぐさま現地通訳の人が「あまり長く話さないようにとお医者さんが言ってます。」という。なんだろう??事情は分からないが、病院にいることだけは理解した。翌朝、夫の仕事発注元(国内)に電話して、事態が少しずつ分かってきた。と同時に、間もなく退院でき

るはずだから、迎絵に行く手配をしてくれるということになった。急ぎよ、ウランバートルに行くことになった。「寒いから、暖かくしてお出かけください。」という言葉におくられて、電話のあった翌々日早朝の便で現地に向かった。幸い、病人は比較的元気で回復に向かっていたが、すぐの帰国は叶わず、約1週間の入院を要し、私は先に帰国することになった。二泊三日のウランバートル旅行は、現地の医師を含め関係者の心温まる気遣いで、何一つ不自由はなかった。だが、寒かった。

到着したのは夕方4時半ごろで外気温-11℃。「今日は暖かい」という言葉にびっくりした。中一日於いて帰国する日は朝早く宿舎を出発することになった。外気温はスマホによると-27℃、車の表示でも-24℃。凍てつく寒さ、とかいう日本語の表現があるが、そんなもんじゃない。冷気が顔を刺す。でも、人々は活動している。日本でも見かけるようなダウンジャケットが一般的のようだった。毛糸の帽子と手袋は必需品。足元はしっかりしたブーツで固めてる。たまに、年配の人が民族衣装で街を歩いているのを見かけたが、その人たちも例外なくブーツを着用している。

街中を移動しているときに、河川敷のような場所に「KYOKUSHUZAN BEYA」のサインがある建物が見えた。日本の大相撲は、この国でも随分有名らしい。日本の大相撲騒動で現地新聞にも白鵬土俵入りの写真。

ラーメン屋も結構たくさんあると聞いた。トンコツラーメンを食べてみたら、厚切りのチャーシューがたっぷり盛られ、スープは確かにトンコツの乳白色でゴマ山盛り。

2013年に来たときに比べ、町は新しい建物が増え、発展しているように見えた。その時突撃見学した国立公文書館は新しい建物ができて移転したと聞いた。旧建物はそのまま残っていたが、別の組織が使っているようだった。発展途上国の良い面を見ることができて、よかった。

■2017年 チョコのデキゴト短信

- 3月 札幌の藤女子大学、退職
- 4月 UNHCR アーキビスト来日、京都で講演会開催
- 5月 米国公認アーキビスト資格更新手続5回目。
- 8月 長男一家帰国同居
- 8~9月 UNHCR で作業
- 11月 同上報告会主催
- 12月 夫の不調で急遽モンゴル行。-27℃体験、寒ッ!

■結句年明けに No.112 をアップすることになりました。落ち着かない1年を過ごしたと、しみじみ思います。(ち)